

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先・畿央大学 学生支援センター (0745-54-1601)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
幼稚園教育におけるねらいと内容及び教師の役割		幼稚園教諭	6H	講義・演習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成29年8月16日(水)	50人	西尾 正寛(畿央大学・教授) 細越 寛樹(畿央大学・准教授) 粕井 みづほ(畿央大学・教授) 中村 恵(畿央大学・講師)		
会場				
畿央大学				
【講習の概要】				
4つのテーマを扱った講義を展開する。広い見地からの内容として、子どものもてる力を伸長する教師の受容的な関わり方と環境づくりについて。具体的な教育活動として造形表現と音楽表現についてである。それぞれの専門的に研究する教員が、人格形成の基礎を培う幼稚園教育のねらい、内容、教師の役割などから演習形式の活動を交えて講義を行う。受講者には各講義で解説された内容を理解し、その中心となる部分を記述説明できることを求める。				
【小テーマ①】 幼児期の造形表現 — 幼児の幅広い感性と表現 —			1. 5H	(担当講師:西尾 正寛)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	幼稚園教育要領の感性と表現に関する領域「表現」のねらいを踏まえ、いろいろな形や大きさの箱を並べたり積んだりする活動の保育の構想を行うことを通して、幼児の幅広い感性と表現に寄り添い、心情・意欲・態度を育てる保育のあり方を考える。			
到達目標・確認指標	表現領域のねらいと内容の解釈の実践レベルでの解釈に基づき、題材「行事の絵」における具体的なねらいの設定、幼児が感性やイメージを豊かにできる環境設定、導入場面から主活動場面に至る過程で一人一人の活動を支える教師の配慮と援助の構想ができる。			
キーワード	感性と表現、表現する対象とかかわり、心情・意欲・態度、ねらいの設定			
【小テーマ②】 認知行動療法に基づいた話の聞き方、質問の仕方			1. 5H	(担当講師:細越 寛樹)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	幼児期は言語的応答がまだ未熟な段階であるが、だからこそ大人が上手に言葉かけをして、その状況や体験を子ども自身が少しでも語り、自分の中で整理できるように援助することが必要である。その聞き方、質問の仕方を考える。			
到達目標・確認指標	状況や体験を整理するための認知行動モデルが理解できる。それに基づいて具体的な質問ができる。			
キーワード	認知行動療法 質問 体験の理解			
【小テーマ③】 保育におけるカウンセリング・マインド			1. 5H	(担当講師:粕井 みづほ)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	人を援助する立場にある人々には、カウンセリング・マインドが必要である。子どもたちは成長する力をもって生まれており、この力を伸ばすという考え方もこれに通じる。カウンセリング・マインドについて理解し、保育に活かすにはどうすれば良いかについて考える。			
到達目標・確認指標	カウンセリング・マインドについて理解することが出来たか。カウンセリング・マインドを保育に活かす方法について考えを深めることが出来たか。			
キーワード	保育 カウンセリング・マインド 個性 受容			
【小テーマ④】 幼児期における資質能力の捉え方			1. 5H	(担当講師:中村 恵)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	幼児期のおわりまでに身につけたい資質能力について、今後の幼稚園教育要領改訂の方向性に沿いながら、その捉え方や可視化について実践に基づいて考える。			
到達目標・確認指標	幼稚園教育要領の改訂の方向性についての理解が深まったか。子どもの資質能力の捉え方や可視化の方法を理解し、自分なりに実践をデザインできる。			
キーワード	資質能力 学びの芽生え ドキュメンテーション カリキュラムデザイン			
試験方法	1日の最後にまとめて筆記試験を行う。			
成績評価の方法・基準等	各小テーマごとに採点し、各25点、合計100点満点で60点以上を合格とする。			